

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1225 生物の多様性A			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	215
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	木曜2限				
教室	J301教室				
代表教員	堂前 雅史				
担当教員	堂前 雅史				
テーマと到達目標	現在、地球の生物多様性は危機を迎えている。生物の多様性は長い地球上の生命の歴史を通じての進化の結果である。本講義では生物多様性の意義と、生物多様性をもたらした生物と環境の相互作用のメカニズムについて解説する。進化学的視野を踏まえた新たな生命観を持てるようになることを目標とする。				
概要	講義では、まず現在の生物多様性をもたらしている要因としての進化のメカニズムについて、自然選択、性選択、遺伝子浮動と中立進化について説明する。生物多様性の危機をもたらしてる要因を考察する。その後、生物多様性の内容と危機をもたらす要因について解説し、そうした知見を総合した上で、現在、我々が何をすべきかについて、考えてもらう。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	序論				対面授業
第2回	生命とは何かを考える				対面授業
第3回	系統分類とニッチ				対面授業
第4回	進化のメカニズム1（遺伝子浮動と中立進化）				対面授業
第5回	進化のメカニズム2（自然選択）				対面授業
第6回	進化のメカニズム3（性選択）				対面授業
第7回	進化のメカニズム（共進化）				対面授業
第8回	種の多様性と遺伝子の多様性				対面授業
第9回	生態系の多様性				対面授業
第10回	生物多様性条約：生物資源とバイオパイラシー				対面授業
第11回	生物多様性の危機（乱獲）：ウナギは食べていいのか？				対面授業
第12回	生物多様性の危機（生息地消失）：木を守っても森を守れない				対面授業
第13回	生物多様性の危機（外来生物）：外来種は悪者なのか？				対面授業
第14回	我々は何ができる：「緑ゆたかな里山」という幻想				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	期末試験(100点満点)で成績評価する。加点レポート(20点分以内)を提示することがある。				
履修にあたっての留意事項	高校の時に生物学を履修していない人でもついてこられるように、最初に生物学の基本を話す。逆を言うと、高校の生物の知識がない人は、最初の方の授業を欠席すると分からなくなるので注意すること。 学生の理解や関心の進行状況に鑑みて、順序などは一部変更される場合がある。 地域・流域プログラムのコア科目である。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	随時プリントを配布する	教科書(ISBN)	
参考文献	エマ・マリス『「自然」という幻想』(草思社文庫)草思社(2021年)(¥1,320)(Kindle版あり)、長谷川眞理子『進化とはなんだろう』(岩波ジュニア新書)(1999年)、ドーキンス『利己的な遺伝子・40周年記念版』(紀伊國屋書店)(2018年)、Anu Singh - Cundy 他『ケイン生物学』(第5版)東京化学同人(2014年)、トムソン『外来種のウソ・ホントを科学する』築地書館(2017年)	参考文献(ISBN)	978-4794225153 978-4005003235 978-4314011532 978-4807908523 978-4806715337